

とっとり Autumn 2020 NOW

巻頭
特集

ワンだふる！華麗に活躍
災害救助犬と警察犬

特集

ずっと、そっと…見守る愛

魅力を伝え共生の道探る
NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部



とっとり Autumn 2020 Now

あーとの森 洋画 丸山 勝三 2

巻頭
特集

潜入！キニナルおしごとシリーズVol.2

ワンだふる！華麗に活躍

災害救助犬と警察犬

TOTTORI おもしろ発見手帖 鳥取県園芸試験場 12

ここにこの人 Human Life 再現美容で がん患者に寄り添う 横川 千歳 13

花咲くYokai談 水木しげると身近な妖怪たち アマビエ 16

鳥取のうま味 ふくよかな幸せ洋食 17

カメラアイ Camera Eye 〃天界の花、咲く丘 18

きらい匠人 継承の技が語る世界 石職人 富永 清隆 20

特集

ずっと、そっと…見守る愛

魅力を伝え共生の道を探る

NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部

VIVA! トットリLIFE 輝くIUUターナーたち ゲストハウス経営 (大山町) 30

企業紹介 株式会社フジタパラダイスパーク 32

文字の迷宮をゆく ~つれづれ書林女子~ 『AKIRA』 Voice 33

読者プレゼント・編集後記 34



巻頭特集：囃託警察犬の審査会に挑む飼主と犬



特集：大山で開かれた探鳥会



表紙イラスト
池平 徹兵

いけひら・てっぺい

1978年福岡県生まれ。島根大学卒。東京オペラシティアートギャラリー projectN、岡本太郎現代芸術賞展、VOCA展などに出演。今回はCM「宇多田ヒカル×サントリー天然水」の舞台となった奥大山を背景に、ツキノワグマとスケッチブックを持った女の子の出会いを描いた。現実には難しい共存も絵の中では実現できる。



『闘牛』(油彩30号、2019年、セイカ株式会社「未来創造館」所蔵)

1960年代は、デラシネ(根無し草)の時代である。敗戦後の混乱を経た若者が、祖国を離脱して自らを探し求めた。丸山勝三さんも武蔵野美術大学を首席で卒業すると、世界各国を歴訪したが、それは半ば甘い自分探しではなく、もっと熾烈で命がけの取材だった。

メキシコで『黒い教会』、ギリシャで『白い教会』を、スペインでは『闘牛』を描いた。テーマは「祈り」から「生と死」へ、人間の根源に関わる絵画である。恩師・山口長男(※)の薫陶を受けて、根底には抽象思考があり、デフォルメされた色面は拮抗する。

『闘牛』は大観衆の中で、生命を賭けたセレモニー(人生)だ。勇敢な闘牛士はもちろん、黒い牛に払われる畏敬の念。丸山さんが共感したのは、広いグラウンドで闘い斃れる孤独な存在。それは美術団体に所属せず、個展一本で勝負する画家自身ではなかったか。

『女』や『花』のシリーズも、単なる美しさではなく「女性を通した心の本質、花は枯れてこそ美しい」とは作者の弁。「最近絵が温かいですね、と言われます。万象すべて身近になったのか。あとは作品の一人歩きに任せて、いまはただ感謝あるのみです」。

※山口長男(1902-1983)一日本抽象絵画のバイオニア。渡仏してピカソらに刺激を受ける。戦後は二科会の再結成に参加。国際美術展覧会「ヴェネツィア・ビエンナーレ」の日本代表として出品、世界的に活躍。

生と死の根源を探る
洋画 丸山勝三



まるやま・かつみ

1943年生まれ。武蔵野美術大学卒。60年代から再三、メキシコ、アメリカ、スペイン、ギリシャ、フランスなどに滞在して制作。2000年から数度、グアテマラのマヤ族を取材。山陰をはじめ、東京、大阪、福岡、和歌山など各地で個展。代表作に『闘牛』シリーズ。著書『で・こらそん』『続で・こらそん』



『白モクレン』(油彩10号、2016年、個人所蔵)



潜入!キニナルおしごとシリーズ Vol.2

ワンだふる! 華麗に活躍

災害救助犬と訓練士



「捜」の号令がかかる。疾風を嗅ぎ分けながら徐々に捜索範囲を狭め、怪しいと感じた場所を自慢の鼻で入念にチェック。そして「ここだ!」と確信した瞬間、「ワンワン!」と吠える。要救助者を発見した合図だ。スタートから2分足らず、訓練とはいえ、そのスピードと正確さを目を見張った。

黒い毛並みが美しいジャーマン・シェパード・ドッグのエルザ(2012年3月生まれ・メス)は、地震や土砂崩れなどの災害時に倒壊家屋や土砂に埋もれた人を捜し出し、迅速な救助をサポートする災害救助犬だ。両親とも優秀な災害救助犬で、特に父親のエロスは世界大会で4位に輝いた国際救助犬(※)だったという。

「捜」

「せー」の号令がかかる。疾風を嗅ぎ分けながら徐々に捜索範囲を狭め、怪しいと感じた場所を自慢の鼻で入念にチェック。そして「ここだ!」と確信した瞬間、「ワンワン!」と吠える。要救助者を発見した合図だ。スタートから2分足らず、訓練とはいえ、そのスピードと正確さを目を見張った。



災害救助犬と警察犬

何かしらの困難や災害などに遭ったとき、私たち人間を助けてくれるのは、必ずしも同じ人間だけではない。ペットなど飼育している動物が、思わぬ手助けをしてくれることも。その中で最も身近な存在が「犬」だろう。優れた身体能力、鋭い嗅覚、心を癒やす人懐こさ。その特性を生かし、ワンだふるな活躍を見せる犬たちの奮闘に迫る。

文/鳥飼 明子 写真/田中 良子

セラピー
ドッグ
訓練中!



人々を癒やし、和ませたい

犬たちとの触れ合いや交流は、時として身体機能の回復や精神的な不安の軽減など、人々を癒やす効果を生む。そのための訓練を受けた犬が「セラピードッグ」だ。

森田救助犬訓練舎では今年4月からセラピードッグ部門を新設、所属する4頭・飼い主4人の教育訓練をスタートした。犬種はゴールデン・レトリバー、パピヨン、ビーグル、柴犬とさまざま。かわいらしく、見ているだけで心が和む。「セラピードッグは、温厚で忍耐力があり、車いすに乗っている人、杖を持っている人でも怖がらず、誰とでもフレンドリーに触れ合えることが大切。私の愛犬仲間でもある飼い主の皆さんと一緒に訓練を重ね、いいチームを作りたい」と、森田さんはやる気満々。取り組みはまだ始まったばかりだが、今後の成長と活躍に期待が高まる。



セラピードッグを目指して訓練中の4匹と飼い主たち(中央はエルザ)

森田救助犬訓練舎
〒730-0210 米子市淀江町中西尾210-2
0859-56-2518
<https://www.facebook.com/森田救助犬訓練舎-1179455582116095/>

「エルザに出会えて、私の人生観は180度変わった。これほどまでに人間に尽くしてくれるなんて思いも寄らなかった」と森田さん。そのかわらで、一心に森田さんを見上げるエルザの優しい瞳が輝いていた。



災害現場には足場が不安定な場所が多いため、あえてぐらつく場所での訓練を繰り返す



Elsa
大型犬の寿命は10~12歳。現在エルザは8歳だが、体力や能力の衰えはまったくなし=写真提供: 森田救助犬訓練舎

2014年8月の広島市豪雨土砂災害をはじめ、これまでに5回、エルザと共に被災地へ出動した。災害救助犬は、空気を浮遊する生体の呼吸を嗅ぎ分けて要救助者を捜すよう訓練されている。しかし土砂災害の場合、生存者がいる可能性は低く、捜索は困難を極める。それでもエルザはいったん捜索を始めると、発見するか、「やめ」の号令をかけられるまで絶対に諦めない。そんな渾身

の捜索を見て、ほかの犬とは違うと感じた被災者家族に「明日も明後日もエルザに捜索をお願いしたい」と言われたこともあるそうだ。「残念ながら生存者の発見はできなかったが、土中深くに埋もれたご遺体の存在に気付いたり、増水した川に流されて行方不明となった方の衣服の切れ端を発見したりと、エルザは精いっぱい貢献した」と、森田さんは当時を振り返った。

2020年3月、森田救助犬訓練

舎は鳥取県と、「災害時における災害救助犬の出動等に関する協定」を締結した。災害時の行方不明者捜索にエルザが出動することはもちろん、避難所へのセラピードッグの派遣、避難者のペットの一時預かりも請け負う。鳥取県は、防災対策において、新たに心強く頼れる相棒を得たといえる。

「エルザに出会えて、私の人生観

は180度変わった。これほどまで

に人間に尽くしてくれるなんて思い

も寄らなかった」と森田さん。その

かわらで、一心に森田さんを見上げ

るエルザの優しい瞳が輝いていた。

エルザの指導手である森田救助犬訓練舎の代表・森田康博さんは、「その血を受け継いだエルザも、訓練を始めてわずか1年、2歳1カ月で『国際救助犬瓦礫捜索A段階』試験に一発合格した。とんでもない能力を持った犬」と彼女を讃える。この試験の平均合格率はたった20%。国内には20頭程度しかおらず、山陰に至ってはエルザ1頭だけと、極めて

貴重な存在なのだ。そういう森田さんもただ者ではない。元陸上自衛官で、幾度も災害派遣任務に就いた経験を持つ。「出動要請がないと動けない自衛隊は、被災地に入るのがいつも最後。でも犬と一緒に真っ先に現地入りし、最前線で救助活動ができる」と考え、退官後は災害救助犬の指導手になると心に決めていたという。

※国際救助犬=国際畜犬連盟 (FCI)・国際救助犬連盟 (IRO) の定める「国際救助犬試験規定」をクリアした災害救助犬のこと。



森田さんの号令で人の捜索訓練がスタート。疾走したエルザはまたたく間に3人を発見した

訓練士と一体、現場で貢献 災害で頼れる優秀な救助犬

森田さんにピッタリと寄り添い訓練を続けるエルザ



「エルザとともに活動を続け、少しでも災害現場で役に立てれば」と話す森田さん

根気よくコツコツ訓練重ね 「いざ」に備え能力引き出す



嘱託警察犬と訓練士

警 察犬には、都道府県警察が直接管理・訓練を行う「直轄警察犬」と、一般の人が飼育し訓練する「嘱託警察犬」の2種類がある。現在、鳥取県警察では後者の制度のみを採用しており、警察犬の活動は民間の愛犬家たちによるボランティアで成り立っている。



嘱託警察犬目指して訓練中のシェパード。高い障害もなんなく飛び越える

とはいえ、その訓練を素人だけで行うのは難しく、プロの訓練士の力を借りるのが通常だ。ここ宮本愛犬訓練所には、公益社団法人日本警察犬協会公認訓練士の資格を持つ訓練士がおり、嘱託警察犬の育成・訓練を行っている。

広いドッグランをうれしそうに走り回る犬たち。ところが訓練に入ると、一転してキビキビ。指導士の顔をしっかりと見つめ、その指示を忠実に実行するからビックリ。指導士が魔法使いに見えてしまうほどだ。

「365日休みはないですね」と話す宮本さん夫妻。警察犬を目指す犬以外にもしつけのための多くの犬を預けている



「警察犬の訓練は、生後4〜6カ月の子犬の頃からお預かりして行います。最低でも1年から1年半の期間が必要です」と所長で訓練士の宮本誠さん。嘱託警察犬になるには、毎年実施される「嘱託警察犬等審査会」に合格しなければならぬからだ。3種類の審査があり、お座りや伏せ、脚側行進など指導士の指示に従って基本的な動作を行う「服従」は必須項目。5つの臭いから正解を選び出す「臭気選別」、仮想犯人の歩行経路をたどる「足跡追及」は、どちらか得意なほうをチョイスできる。難しそうな審査に向けてさぞ厳しい訓練を積むのだろうと思いきや、「まずは遊ぶことから」という意外な答え。「人と遊ぶのが楽しい、おやつがもらえてうれしいという気持ちを芽生えさせることが訓練につながる」のだとか。しかも1回の訓練は10〜15分、子犬なら2〜3分。「集中力が続かないから長時間はやらない。その代わり毎日、そして1日に何回も繰り返して、少しずつ教える」と、同じく訓練士である妻の美穂子さん。魔法の裏には、気が遠くなる

「怖がる人もいるけど、こう見えてシェパードはすごく甘えん坊。そういうところがかわいい」。訓練が終わってじゃれつく飼い犬に目を細める田中政男さんは、嘱託警察犬・リン(6歳・メス)の指導手。先代犬も含め、約10年指導手を務めるベテランだ。

能力生かし役に立ちたい



Rin

嘱託警察犬の飼い主

「せっかく警察犬に適した犬種を飼うのだから、その能力を生かさないともったいないと思って、宮本さんに預けて訓練してもらいました」。リンは1歳半の時、初めて嘱託警察犬等審査会に合格。以来、毎年審査をクリアしており、今年で5年目という優秀な犬に育った。田中さん共々経験豊富で、鳥取県警からの信頼は厚い。

ただ、平日昼間の出勤要請は、田中さんの仕事の関係で応じられないことも。「だから、早朝や夜間に出勤することが多いですね」。事もなげにそう言うが、時間と手間を割き、困っている人に手を差し伸べる利他的な精神には頭が下がる。

休日はリンと一緒に訓練を復習する。「一度覚えたことは忘れないけど、どうしても甘えが出てしまって、『またやるの?』みたいな顔をしている」のが悩みのタネだとか。

実はリンの子どもが6頭生まれており、そのうち3頭が現在嘱託警察犬を目指して訓練中だという。減少傾向にある嘱託警察犬だが、次世代もスクスク育ってほしいものだ。

ぐらい根気のいる訓練があったことにまた驚かされた。

警察犬が越えるべきハードルは、訓練や審査だけではない。実際の捜索活動は比べものにならないくらい難しい。市街地での捜索は大抵、アスファルトの舗装道路。臭いが残りづらいう上、大勢が捜索に歩いた後であったり、数日が経過した後であったりすると、対象者の臭いはほとんど残っていない。そのような現場では、成果を出せることのほうがまれなのだ。「みんな警察犬が出動すれば見つかると思っているから、犬も人もプレッシャーは相当なもの。結果が出せなくて自信をなくす犬もある」という。

日常生活の中で、嘱託警察犬の働きを直接目にするのはめったにない。しかし私たちの生活は確実に、警察犬たちの地道な活動に支えられている。



臭気選別や足跡追及は、不明者を探す際に不可欠。何度も訓練を繰り返すが、それでも道路や山道ではさまざまな臭いが混じり、困難な捜索が多いという



宮本愛犬訓練所
鳥取市賀露町西1丁目2919
0857-32-1796
<http://www.hal.ne.jp/abely-m/index.html>





3つの審査に真剣に挑むゴールデン・レトリバー（2019年11月）

臭気選別



服従



足跡追及

鳥取県警では、毎年春・秋に「訓練会」も開催している。現役警察犬はもちろん、嘱託警察犬になりたい犬や指導手の方も参加できるとか。一般に警察犬はシェパード、ドーベルマンなど7種類の犬種が指定されているが、「鳥取県警では犬種を限っていません。これまでに柴犬やトイ・プードルといった中型犬、小型犬も嘱託警察犬として活躍したことがあります」と井畑さん。犬と指導手の高齢化が進み、嘱託警察犬の数が減りつつあることから、「興味のあられる方ぜひチャレンジしてほしい」とアピールする。

頼れる「犬のおまわりさん」、さあ今年は何頭誕生するだろうか。

鳥取県警察本部刑事部鑑識課
鳥取市東町1丁目271
0857-23-0110
<https://www.pref.tottori.lg.jp/272117.htm>



多数の行方不明者を発見
犬種限らずチャレンジを

鳥取県警嘱託警察犬



指 示を出す指導手の一挙手一投足を見逃さず、その命令に忠実に従う。合図とともに駆け出して、障害物を軽々と飛び越え、投げられた物を取ってくるのもお手のもの。そして、人間の3千倍から1億倍といわれる嗅覚を武器に、逃走した犯罪容疑者を見つけ出す警察犬。近年は、認知症を患う高齢の行方不明者捜索といった場面でも大いに活躍している。

鳥取県における2019年の警察犬出勤回数は39回。そのうち5回が犯罪捜査、34回が行方不明者の捜索

だった。「警察犬の活躍が事件解決、行方不明者発見につながったという事例がたくさんある。人間や機械では代わりが利かない、犬の素晴らしい能力があればこそ」。鳥取県警刑事部鑑識課の井畑三三さんは、その働きに賛辞を贈る。

日本に警察犬制度が創設されたのは1952年で、鳥取県もその4年後に「嘱託警察犬」制度を導入。毎年11月に開催される「鳥取県警察嘱託警察犬等審査会」をクリアした犬と指導手が、翌年1月からの1年間、嘱託警察犬として活動できる。現在、9頭の犬と8人の指導手がこの任に就いている。

審査会では「服従」「臭気選別」「足跡追及」の3審査が実施されるが、「一番大事なのは、指導手の指示に忠実に従えるかどうかを見る『服従』。捜査では街中を歩くので、言うことを聞かず不意に飛び出していったり、ほかの人にじゃれついたりしてはいけないから」と井畑さんは言う。

「足跡追及」では、鼻を地面に付けて臭いを嗅ぎ分け、犯人役の警察



審査会に参加した飼い主と犬、審査にあたった鳥取県警鑑識課のみなさん（2019年11月）

官が歩いた軌跡を正確にたどる。逃走中に犯人が落とした物品も見逃さずに、口にくわえて指導手に知らせなければならぬ。

臭いが付いた布を選別する「臭気選別」の審査では、4回の試技の中に1回だけ、5つの選択肢の中に正解がないという「ゼロ回答」も。「何も選ばない」ということは、犬にとってかなりの難問。正解できる犬は少なく、うまくできたときは周囲から歓声が上がるほどだ。

ここにこの

Human Life

横川 千歳

Yokogawa Chitose

再現美容でがん患者に寄り添う



「再現美容師」として活動している。技術を提供するだけでなく、自身の経験も生かして患者の心をケアし、その孤独を受け止めている。

壮絶ながんと闘い……。さまざまな葛藤を抱えるなか、髪の毛をも失う恐怖……。倉吉市出身の美容師・横川千歳さんは乳がん闘病の傍ら、母から受け継いだ美容室で

文/倉恒 弘美 写真/菅野 雄一

鳥取県園芸試験場

所 東伯郡北栄町由良宿 2048
 電話 0858-37-4211
 WEB <https://www.pref.tottori.lg.jp/engei/>

きたろう 「輝太郎」(カキ)、「新甘泉」(ナシ)、「ねばりっ娘」(ナガイモ)…。ユニークなネーミングを携えて華々しくデビューする新品種の農作物。しかし店頭に並ぶまでには、実は気が遠くなるほどの時間と手間が…。開発に取り組むのは、鳥取県園芸試験場。影の立役者の現場を探検する。



地道に一步ずつ、縁の下で「農」を支える

新品種って どうやって作るの？

イチゴの新品種「とっておき」は、鳥取県の主力品種「章姫」と他種を掛け合わせ、選定と試験を繰り返し、農家が栽培、販売ができるようになるまでに、なんと20年の年月を要した。「とっておき」の「とっ」は「鳥」取からもらい、県産をアピール。「特別な美味しさを日常生活の中で」という思いから命名。



イチゴの新品種の育成法

雌しべに花粉をつける 袋をかけて育てる

- ①母親役の花の雌しべを取り、雌しべだけにして、父親役の花粉をそこに付ける。
- ②他の花粉がつかないように袋をかけて育て、種子をとる。
- ③種子をまいてイチゴを育て12月に収穫し、食べ比べて美味しいものを選抜する。
- ④何年もかけて品質が良く、収量が高い系統を選んでき、新品種候補のイチゴができる。

同試験場では果樹、野菜、花卉(観賞用植物)を対象に新たな鳥取県オリジナル品種の開発のほか、生産者の労を省き、高品質で収益性が高い作物を作る技術、効率的な病害虫防除法などの研究に日々、コツコツと励んでいる。



新品種を作るメリットは？

気候変化や病害虫に対応し、それまでのものより栽培がしやすい。また品種登録することで鳥取県内の農家だけが育成の権利を得られ、流通量が少なく単価がアップ。収入増につながる。

花の草丈は自由自在！

日没後の3時間に光の照射や加温などを施すEOD栽培(※)で、切り花用は丈を長く、花壇苗用はこれとホルモン剤などを組み合わせ、花数を多くコンパクトに。試行錯誤で植物を“だまし”ながら、消費者のニーズに合わせた花を生み出す。

※EOD(End Of Day)栽培 = 日没後数時間に光や温度に対する感受性が高まることを利用した栽培方法

農薬を正しく使って病を防ぐ

高温多湿の日本では、完全無農薬では虫や菌の被害は防げないため、登録された農薬を適切に使うことが必要だという。そうすることで効率的に防除でき、栄養価や美味しさを維持した作物を収穫することができる。



木の形を変えて作業をラクに！ ナシ樹本体ジョイント仕立て法

「樹体ジョイント仕立て法」(神奈川県開発)は、接ぎ木によって本来の幹の形を変え、作業効率をアップする方法。樹形が直線的になることで、受粉や収穫などの作業時間が大幅に短縮し、新たな担い手も参入しやすくなる。

現在、鳥取県ではこれをさらに進化させ、約60度の角度をつけた「V字棚式ジョイント栽培」も研究中。V字にすることで木の間に軽トラックが出入りでき、収穫の際などにさらに便利になる。



文・イラスト/雲坂紘巳(くもさか・ひろみ) 納豆が大好きなイラストレーター。1982年生まれ、鳥取県育ち。づるづるした食べ物が好きなおことから、屋号は「スタジオづるり」。WEB=<http://dururi.com>

絶望の中で見つけた光

「この子たちを残して自分は死ぬかもしれない」。2009年1月、35歳で左胸に乳がんが見つかった。子どもたちは6歳と3歳。絶望に飲み込まれそうになっていた矢先、共に美容室を営んでいた実母が心筋梗塞で急逝。「何で自分だけが」。がんの告知からわずか5日後のことだった。

死への恐怖と母を失った喪失感から、とにかく動いていかなかった。温存手術を受けた痛みで左腕が上からず、仕事や店を失い、社会と切り離されるかもしれない恐怖もあった。わらにもすがらない思いで、インターネットで情報を検索。抗がん剤治療の副作用で髪を失ったがん患者のために、医療用ウィッグを使って元の髪型を復元する「再現美容」に取り組むNPO法人「日本ヘアエピテーゼ協会」を知り、ピンと来た。

自身のがんは抗がん剤が効かないタイプで、内服薬と注射薬によるホルモン療法を受けていた。大量の脱毛はなかったものの髪は薄くなり、肌は荒れて体重も増加。外見の変化に伴うストレスは大きかった。「今、とにかく挑戦したい」と何かに追い立てられるかのようになり、同協会で実技やがんに関する知識、心のケアの方法などを学ぶ。09年6月、中国地方で初めて、同協会認定の「再現美容師」の資格を取得した。

受け止めきれない思い

しかし活動を始めて1年ほどしたころ、ある日「心がポキッと」折れた。病気発覚から必死で走り続けてきたが、自分の治療と並行して、他のがん患者の思いまでを受け止める心の余裕が実はなかったのだ。美容室に来る患者たちは、家族の前では我慢していた本音を打ち明ける。同じがん患者として

施術超えた心のケア時間提供

点と点の出会いつなげる

再現美容師の仕事の日は、店は一日貸し切りにする。がん患者の他に脱毛症などの人も訪れ、相談や提案だけで終わる日もあるが、「髪は自分の分身だから、納得の上で」と時間を惜しまない。また病院からの紹介も多く、病室出張して相談を聞くことも。活動を始めて11年、人と人との出会いが点から線になり、輪になって、今では不定期ながら患者会も開催。患者同士を結び、気持ち

心の内を共有する一方、「抗がん剤じゃない人にはわからない」という言葉に突き放された。ホルモン療法の副作用もあり、不眠や情緒不安定の毎日が続く。朝起きると涙がこぼれ、些細なことでも子どもたちに当たり散らした。救ってくれたのは友人の言葉だった。「眠れなければ寝なくていい。その間編み物でもすればいいし、昼間に寝てもいいじゃない」。開き直り方を教わり、ふいに心が軽くなった。がん患者が集う会に参加した際には、「同じ病気でも治療方法や家庭環境はそれぞれ異なる。全て抱え込もうとせず相手と自分を切り離して考えて」などのアドバイスも多々受けるうちに、少しずつ肩の力も抜けていった。



希望のスタイルに合わせてカットし、約2時間で完成。アフターフォローもセットになっている

● ウィッグ・補整下着購入費用補助制度 ●

鳥取県と鳥取市はがん患者のウィッグ(かつら)と補整下着の購入費用の一部を助成している。

【申請・問合せ】

鳥取市保健所健康推進室 ☎0857-20-0320
鳥取県中部総合事務所健康支援課 ☎0858-23-3146
鳥取県西部総合事務所健康支援課 ☎0859-31-9319



NPO法人「日本ヘアエピテーゼ協会」が発行する
医療用ウィッグのパンフレット
☎ <https://www.hair-epithese.com/>

本音分かち合い、 孤独感を癒やす

を吐き出してもらい、「これ以上頑張らなくてもいいよ」と、ひとりずつ優しく寄り添う。関わった人たちのその後は、元気がなくなった人もいれば、再発した人、亡くなった人もいる。時折、治療を終えた元患者が遊びに来て、店内に明るい声が響く。脱毛のため学校に行けず、ウィッグにも抵抗があった当時の女子高生が、最近、結婚・出産の報告に来てくれた。「病気の克服と彼女の成長がわかり、本当にうれしくて。やりがいを感じました」。

自身は最初の乳がん発覚から3年後、右胸にもがんが見つかり全摘手術をした。現在、治療は一通り終わり、体調は安定。これから治療に臨む人にとっては、その働く姿が励みでもある。「二人でも求めてくれる人がいる限り、再現美容師の仕事はずっと続けていきたい。今後は人とのつながりをより広げていきたい」。多くの人生を見つめ、包み込んできた目が柔らかに笑った。

よこがわ・ちとせ

倉吉市出身。高校卒業後、大阪の専門学校に進学し美容師の資格を取得。25歳で地元に戻り、実家である「女神美容室」で母とともに美容師として働く。35歳の時に乳がんが発覚、その後全摘手術を受ける。2009年から再現美容師として活動。日本ヘアエピテーゼ協会理事。鳥取県がん対策推進県民会議委員。

☎ 女神美容室
☎ 倉吉市新町2-234-7
☎ 0858-22-4098
🕒 9時～18時半 ※再現美容は完全予約制
🗓 月曜日、第3日曜日



■ ふくよかな幸せ洋食 ■



フランスの村里にある店、の意を持つ
瀟洒なレストラン。カツレツ、グラタン、オ
ムライス…王道の洋食たちが出番を待
つ。

この地で40年以上、老若男女に愛さ
れる料理を作り続けるシェフの國岡眞郷
さん。当初から県産品の佳味に開眼し、
今では地産地消の先導者だ。「地物は味
が濃く、シンプルな調理でも十分に美
味」なのだが、國岡さんはさらに一から
手作りしたブイヨンやソース、ドレッシン
グをあわせ、絶品の一皿を作り出す。

人気は夕食コース。メイン(日替わり)
の大山どりは、皮は香ばしく身はふっく
らとグリルされ、肉汁があふれる。ソース

はトマトベース。ナスやパプリカなどの
キューブ状の野菜が彩りと食感の良さを、
牛スジ肉を10時間煮込んで作るデミ
グラスソースが深みを出し、鷹の爪でピ
リッと大人風味に仕上げる。

高揚感はさらに続く。妻の典子さんが
考案したデザートレシピは豊富で、そ
のなかから季節に合わせたオリジナル
ケーキを作る。甘さ控えめで、納得のお
いしさにテイクアウトの注文も多い。

「育ちのわかる素材を丁寧に調えるだ
け」と語る國岡さん。夫婦二人三脚で生
み出す料理は、栄養も愛情も満点、ふく
よかな幸せの味がする。

文/岩村 利恵 写真/山田 真美

夕食コース(1980円・税込)は、本
日のメイン、スープ、サラダ、パンまた
はライス、デザート、ドリンクが付く。
サラダのオリジナルドレッシングは、
果物や味噌、カレー粉など食材にあ
わせ変幻自在。絶品のデザートは盛
り合せて。

レストラン 仏区里屋

所 鳥取市湖山町北4-237-1

☎ 0857-28-1593

営 9時~15時、17時~21時

休 火曜日(祝日の場合は営業)、
不定休

パウロ讃歌を浴びた水木さん

ラバウル(※1)のトライ族の村長トペトロが
亡くなって3年後の1994年、水木さんは彼の
葬儀のため、現地に渡る。その際、私も同行
した。

トペトロは水木さんの命の恩人。戦時中、
食物を運んでくれた現地の少年だった。だが
到着すると、息子たちは「葬儀費用がない」と
言う。そこで水木さんが、二つ返事で主催者
を引き受けた。

元ラバウル市長が間に入って、丸2日で準
備を整えた。墓の整備、墓前での昼食、その
後のシンシン(民族舞踊)、貝貨(※2)の陳列、
ごちそうの大盤振る舞い…。シンシンは、仮
面をかぶり腰に青葉をまいたトゥブアン(精
霊)が登場する独特のダンス。水木さんも、
はしゃいで飛び入り参加した。

数百人の参列者がもっとも喜んだのは、最
後に配られた豚肉だった。生肉は日頃入手で
きない贅沢品だ。スカートに隠して2度並んだり、
子どもを何人も列に並ばせたりと大騒ぎ。

「パウロ!サンキュー、パウロ!」と、パウロ
讃歌を浴びた。

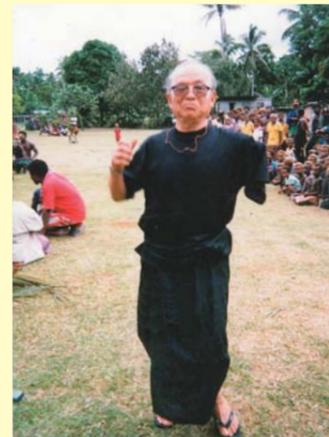
水木さんは、戦時中からずっと「パウロ」と
呼ばれてきたのだ。キリストを迫害する側か
ら一転してキリスト教の聖者となったパウロ。
全員がキリスト教徒の村人にとって、寛大・公
平な日本人はパウロそのものなのだろう。

「墓で般若心経唱えたんですけどね」。

このとき、心境について問うと、水木さん
は片目をつぶってそう答えた。

※1 ラバウル=パプアニューギニア独立国の都市

※2 貝貨=貝殻を材料とした貨幣



トペトロの葬儀を主催することになり、
ご機嫌の水木さん(1994年ラバウル)

花咲く Yokai談

文・写真/足立 倫行
イラスト/ミギワン

水木しげると身近な妖怪たち

妖怪
ファイル
No.10

人々を疫病から守る
アマビエ



なんだか急に人気者になっちゃって

今年にはコロナ禍の年。SNSには疫病除けの妖怪アマビエに
ついて投稿する人が急増し、各地で菓子・Tシャツなど関連グ
ッズも続々作られた。

水木さんの『決定版 日本妖怪大全 妖怪・あの世・神様』(講
談社文庫)によれば、肥後国(熊本県)の海中に毎夜光るもの
が現れ、「私はアマビエ。今後6年間は豊作だが、病が流行った
ら私の写し絵を人々に見せよ」と言って去ったという。
挿絵は長い髪にクチバシ、ウロコに覆われた胴体の「鳥のよ
うな人魚?」だ。1846年の瓦版を元にしているが、水木さん版
では片腕が描かれたうえに鋭い4本爪もある。民俗学的には
「予言獣」と呼ばれ、農作の豊凶と疫病の流行とをセットで人々
に告げる。食と病は生命に直結するが、科学や医療が未発達な
時代には伝承を信じて祈るしかなかった。

現代では当然、さまざまな防御や撃退策がとられる。にもか
かわらず、私たちがアマビエにすがりたくなるのは、受け継いだ
「恐怖DNA」のせいかな?

足立倫行(あだち・のりゆき)
ノンフィクション作家。境港市生まれ。同郷の先輩である水木
しげるさんに約2年間密着取材し、『妖怪と歩くドキュメント
水木しげる』(1994年新潮文庫)※を刊行。主書に『日本海
のイカ』『北里大学病院24時』『血脈の日本古代史』など。
※今井書店より復刻版発売中

ミギワン
漫画家・イラストレーター。石川県生まれ、鳥取県育ち。
WEB=http://migiwan.com/
facebook=https://www.facebook.com/migiwanFB/



天界の花、咲く丘
よなご よど えちよう
(米子市淀江町)

撮影／松原幹夫(米子市)

まんじゅしゃげ
曼珠沙華(彼岸花)は、サンスクリット語で「天界に咲く花」の意で吉兆とされる。国内最古級の仏教壁画画片が出土した(1991年)上淀麿寺跡での「彼岸花の里づくりプロジェクト」は7年目。地道な植栽活動が実り、今では初秋の風物詩として定着した。



手彫りにより来待石の素朴な風合いがより引き立つ



日本独自の伝統を守り、技術を受け継ぐ
県内の「光る匠たち」を紹介します。

デザイン性豊かな石灯籠。作ってすぐの新品より、
時を経て趣が増したものを求める客が多いという



MEMO

来待石は1400万年前に形成された凝灰
質砂岩。コケがつきやすく、時を経るごと
に色合いが自然に溶け込み、趣が増す。
出雲石灯籠の起源は奈良時代で、「わ
び・さび」を重んじた千利休や松江藩主・
松平治郷（不昧）にも愛された。基本は
6部分（九輪・笠・火袋・受鉢・竿・台座）
からなり、デザインは自由度が高い。

石の間からこぼれる光が幻想的な
雰囲気を醸す照明スタンド。玄関
先やアプローチなどに人気



素朴な温もりが醸す「わび・さび」の世界

木々や景石が静かに佇む庭を見ると、心落ち着く。そんな和風庭園に欠かせないのが、石灯籠だ。島根県松江市で産出する来待石を使った出雲石灯籠は、自然と調和する素朴さと温かみがあり、根強いファンが多い。石職人・富永清隆さんは、出雲石灯籠の伝統を守りながら、現代に合った来待石の楽しみ方を提案する。

石職人 富永 清隆

祖父が始めた石材店で創業90余年。幼い頃から職人の仕事を見て育ち、「何の迷いもなく」高校卒業後、石材加工の世界へ。祖父から基本を教わり、父親に次いで3代目を継承した。

他の石と比較し、柔らかい来待石は、職人の一振りでその表情を大きく変える。「来待石が扱えれば、どんな石でも加工できる」。重いつるはしを繊細かつ大胆に振り下ろし、趣ある曲線を出していく。近年は室内やベランダに置ける小ぶりの石灯籠、来待石の風合いを生かした照明スタンドなども手掛ける。

今春、高校を卒業した長男も同じ道を選んだ。「造ることは楽しいし、お客さんに喜んでもらえるとうれしい。息子にも少しずつ技術を伝えていきたい」。飾らないけれど確かな存在感のある出雲石灯籠と、実直に石に向かう清隆さんの姿が重なった。

文/井田 裕子 写真/田中 良子



つるはしなど鋼製の多様な道具を、
加工する場所によって使い分ける

☎ 富永石材店
📍 境港市外江町2025-1
☎ 0859-42-6328



魅力を伝え
共生の道探る

NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部

鮮やかな新緑が茂るブナ林に、軽やかな歌声がこだまする。
日本野鳥の会鳥取県支部は、野鳥の魅力を広めるとともに、
共存するための豊かな自然の大切さを訴え、活動している。
山に水辺に鳥たちの楽園が広がる「トリの県」。
ひととき、彼らの「演奏会」を聞けば、
とたんに虜になること間違いなしだ。

ずっと、
そつと、
そつと……

見守る愛



文／井田 裕子 写真／山田 真実

美しさと生命力にパワーアップ

日本野鳥の会鳥取県支部は、県内在住の「財団法人日本野鳥の会」会員たちが、ひとつの組織で団結しようと1992年5月に設立した。2006年10月には、鳥に関する知識を生かして社会貢献するために、全国で初めてNPO法人に。現在も全国87支部の中で法人化しているのは鳥取県支部だけという。



「いろいろな種類の鳥を見る楽しさを伝えたい」と支部長の土居さん

活動の基本となるのは「鳥を見て楽しむこと」と支部長の土居さん。今年も新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、3月から2カ月間、探鳥会を中止。5月17日に久しぶりに企画された大山での探鳥会は「マスク着用・お互いに2m以上離れる・観察の際には各自の双眼鏡を使用・共用のスコップを覗く時には、触れずに短時間で会話も控える」などの対策を取った開催となった。種々の緑が折り重なるブナ林を進み、野鳥の姿を見つけたら双眼鏡を向ける。黄や青、朱色など、羽の美しさに感嘆し、小さな体ながらあふれる生命力に元気をもらおう。幼鳥を連れたエナガの集団に遭遇し、産毛が残ったかわいらしい姿に癒やされた。

今年も新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、3月から2カ月間、探鳥会を中止。5月17日に久しぶりに企画された大山での探鳥会は「マスク着用・お互いに2m以上離れる・観察の際には各自の双眼鏡を使用・共用のスコップを覗く時には、触れずに短時間で会話も控える」などの対策を取った開催となった。種々の緑が折り重なるブナ林を進み、野鳥の姿を見つけたら双眼鏡を向ける。黄や青、朱色など、羽の美しさに感嘆し、小さな体ながらあふれる生命力に元気をもらおう。幼鳥を連れたエナガの集団に遭遇し、産毛が残ったかわいらしい姿に癒やされた。

野鳥ミニ知識

「さえずり」は繁殖期に主にオスが出す声で、あるパターンを何度か繰り返す。対して「地鳴き」は短く単純で1年を通してオスもメスも出す声。鳴き声を人の言葉に置き換えて、覚えやすく表現したものを「聞きなし」という。

聞きなしの例：
ウグイスのさえずり「ホーホケキョ」「法、法華経」

森はまるでコンサートホール

森の中はまるで鳥たちのコンサートホール。繁殖期を迎え、自分の縄張りを主張したり、メスに存在をアピールしたりするオスたちのさえずりで大盛り上がり。「ポッピーピー」「チチピー、チチピー」「ポポン、ポポン」。木々の間にさまざまな声が飛び交う。「あ、この声はキビタキだ」「あっちの方向にヒガラがいる」「遠くでツツドリが鳴いている」。会員の方が、鳴き声から即座に判断して種類を教えてくれた。探鳥会の魅力は「鳥の姿を眺めるだけではない」と分かった。



毎年バードウィーク期間中に県内3カ所で開催する「青い鳥を探そう」探鳥会(2019年5月)＝写真提供：日本野鳥の会鳥取県支部

このほか、視覚障がいのある方を対象にしたバードリスニングも開催。18年前に始め一時中断したが、今は定期的に開催している。この取り組みは全国でも数支部ほどしかないという。鳥取市の檜谿公園など県内各地でゆっくりと散策しながら、鳥の声に耳を澄ませたり、花の香りを嗅いだり、木に触ったり。木を削った模型・バードカービングや、はく製を触って鳥の姿も実感できる。参加者からは、「オオルリのさえずりがとてもいい声だった」「野外で自然に触れることは気持ちいい」と好評だ。



バードリスニングでは、鳥の声に耳を澄ませるほか植物や木に触って自然の触感も楽しむ(2018年)＝写真提供：日本野鳥の会鳥取県支部



大山をバックに新緑豊かな木々を飛び交う鳥たちを観察する会員たち



※ジョウビタキ…冬に日本にやってくる渡り鳥。春になると中国やロシアなどの繁殖地に帰るが、5年ほど前から、大山でも繁殖が確認されるようになった。オスは胸から腹にかけて橙色、メスは全体的に灰色味のある茶色。オスメスともに翼に白斑がある。

地道な調査で新たな発見 ジョウビタキの研究に邁進

楠ゆずはさん・
なづなさん姉妹
(米子市)

双眼鏡をのぞいては熱心に記録し、さえずりの方向へレコーダーを向ける。野鳥の生態調査に熱心に取り組んでいるのが楠ゆずはさん(16)となづなさん(12)姉妹だ。2人はジョウビタキ(※)の繁殖調査で、日本の野鳥研究者たちから注目を集めている。

幼い頃から生き物が好きだったゆずはさんは、小学校高学年から家族で探鳥会に参加するようになり、2016年5月、大山でジョウビタキの親子に出会う。「大山でも本来の繁殖地と同じような繁殖が行われているのか」。そんな疑問から調査を開始。週末は大山に通い詰め、ジョウビタキを見つけたら日時・地点・行動を記録し、朝から晩までひたすら追跡。

この地道な調査によって、2人はこれまでのいくつかの定説を翻した。「縄張り意識が強い」→「つがい同士の行動範囲に重なりがあり、はっきりした境界線はない」。「2回目の繁殖はヒナが巣立って40日後」→「1回目の繁殖途中から次の巣作りが始まる」などだ。研究成果を2017年、日本鳥学会の高校生(小中学生)部門で発表すると、最優秀賞に選ばれた。

大山で調査を始めて4年目となるゆずはさん。今年は、「オスメスによる役割の違い」を、なづなさんは「オスの鳴き方の違い」を検証中という。「まだ発見されていないことを発見できるのがおもしろい」となづなさん。「新しいことが分かるとまた次の疑問が出てくる。終わりが無いのが研究の魅力」とゆずはさん。

滑らかにキビキビと答える姿は、もうすっかり立派な研究者。鳥たちを見つめる笑顔がまぶしかった。

多岐にわたる活動、長く継続へ

継続した調査で得た、野鳥の生態や生息地などに関する豊富な知識を生かし、社会へ還元する活動も積極的に展開。小学校への出前授業、公施設主催のバードウォッチングのサポート、調査データを基に生息地を守る運動など、その内容は多岐にわたる。

しかし、自然相手の調査や保護活



県内のあちこちに手作りの巣箱を設置する会員たち
写真提供：日本野鳥の会鳥取県支部



カメラを設置した巣箱のモニターでは、卵からかえったヒナの様子もよくわかる



巣箱設置で絶滅の危機を回避

— ブッポウソウの保護活動 —

神社を囲む鎮守の森を住処に細々と繁殖を続けていたが、2000年ごろには絶滅が危惧されるほど生息数が激減。鳥取県内でも八東町(現八頭町)の1カ所ではしか繁殖が観察されず、「このままでは本当に絶滅する」との危機感から、日本野鳥の会鳥取県支部はブッポウソウの保護活動に立ち上がった。すでに岡山、広島両県で巣箱をかける取り組みが始まっており、会員が岡山を視察してノウハウを習得。同時期に日南町で切り倒された木製



定期的に体重を測るなど成長の様子を記録し、再び巣にもどす

電柱の穴にブッポウソウの営巣が確認され、01年ごろから電柱に手作りの巣箱をかけ始めた。

現在は日南町、南部町など県内6町に約70個の巣箱をかけ、その中の2カ所にはカメラを設置して繁殖の様子を観察。現在では3県を中心に繁殖数が増えてきている。

また、河川敷などで営巣するコアジサシの繁殖活動も見守る。同支部では「野鳥が住みやすい環境は人にとっても住みよい環境」と、共に生きる大切さを訴え続けている。



河川や海岸で集団繁殖するコアジサシの保護活動で使うデコイ(模型)
写真提供：日本野鳥の会鳥取県支部

頼もしい次世代も育つ。小学校高学年から入会している高校生の男子は、鳥の声がする方向を瞬時に捉え、姿を見つめる速さが支部会員の中でトップクラス。探鳥会では先頭を歩き、みんなに知らせる役割を任されている。また、探鳥会でジョウビタキの親子に出会ったのをきっかけに、独自に繁殖の様子を調査して全国的な学会で最優秀賞を受賞した中高生の姉妹も。若い世代が鳥を通じて多様な年齢層と交流し、自身の視野を広げている。

土居さんは「今後も現在の活動を長く継続したい。感染症対策など、時流に合わせた探鳥会の在り方を、鳥取で検証して全国に発信できれば」と語る。空は飛べなくても、空飛ぶ鳥たちに思いをはせることで、ヒトはもっと自由に、豊かに生きられる気がした。



手作り講習会で人気の「ヒーリングバード」(羊毛フェルト製)(写真左)。支部報「銀杏羽」は年6回発行しており、こまめに情報を発信
写真提供：日本野鳥の会鳥取県支部

☎ NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部
☎ 0859-21-7149 (津森)
🌐 <http://www.toritorihp.or.jp>



子どもたちに野鳥観察を指導する活動も実施(米子市児童文化センター主催:2019年) = 写真提供：日本野鳥の会鳥取県支部



アオバト

「アーオーオー」と特徴ある声。通常は山地で木や草の種を主食にするが、ミネラル分の補給のため、時に磯で海水を飲む。荒波にさらわれることもあり命がけだ。全長33cm。

(写真提供: 吉田亮)



コハクチョウ

全長約120cm、翼を広げると約190cm。湖沼や河口などをめぐりに水田や湿地帯に移動して草の根などの餌を食べる。ロシアの北極海沿岸から毎年、米子水鳥公園などに飛来する。

(写真提供: 桐原佳介)

オオルリ

オスは頭から背が鮮やかなブルーの背中、白い腹。さえずりは高く澄んでいて美しく、全国的に人気が高い夏鳥だ。メスは全体がオリブ褐色のため見つけにくい。全長16.5cm。

(写真提供: 桐原佳介)



山地だけではなく身近な住宅街にもたくさんの鳥たちが暮らす。耳を澄ませばほら、そこかしこで朝に夕に多様な「おしゃべりや歌声」が…。県内で見られる野鳥の一部を紹介する。

カワセミ

くちばしが長く尾が短くないぐり体型。頭から肩、翼にかけてのブルーグリーンが目立つ。平地や山地の河川や湖上で飛び、水中にダイビングして小魚などを捕獲する。

(写真提供: 桐原佳介)



サンコウチョウ

さえずりが「ツキ(月)ヒ(日)ホン(星)、ホイホイホイ」と聞こえ、3つの光の鳥という意味で「三光鳥」。オスは長い尾羽をひらつかせながら、杉林の中を縦横無尽に飛び回る。

(写真提供: 増馬健一)



アカショウビン

全身がほぼ鮮やかな赤褐色の外見から「火の鳥」とも呼ばれる。長いくちばしで樹木に穴を掘ってオスが巣作りするが、メスはいっさい手伝わぬ。全長27cm。

(写真提供: 徳永年彦)



モズ

愛らしい容姿とは裏腹にバツタ、カエル、小鳥などを食べる肉食。小枝などに獲物を串刺しにする習性「早贄」がある。他の鳥の声真似が上手く漢字で「百舌鳥」と表す。

(写真提供: 徳永美江)



アカゲラ

木の幹に縦に止まり、くちばしで木をつついて虫を食べる。1秒間に18~20回行うドラミング(連続で木をたたく行動)は、「さえずり」と「通信」の意味を持つ。全長33cm。

(写真提供: 吉田亮)



カワウ

全長81cm。水中に潜って魚を捕らえ、水面に浮かんで丸飲みする。これが「鵜呑み」の由来となった。朝夕にねぐらとえさ場の間を、大きな群れがV字型の編隊で飛ぶ姿は壮観。

(写真提供: 吉田亮)

ジョウビタキ

越冬のために日本にくる渡り鳥。名前のジョウは「耐」(銀髪(じよう)の古語)に由来。繁殖期以外は単独行動。縄張りを主張する際に、びよこんとお辞儀をしながら鳴く姿が愛らしい。

(写真提供: 吉田亮)



オオマシコ

鮮やかな紅色。小さな群れをつかって植物の種子や実などを食べる。渡り鳥のため、冠雪する地域に移動して越冬するが、どの地域でも多く見られる年と少ない年の差がある。

(写真提供: 吉田亮)



オシドリ

オスはカラフルで艶やかな容姿で知られるが、繁殖期以外は全身褐色でメスとほぼ同じ姿に。「オシドリ夫婦」とのイメージは誤解であり、実は毎年パートナーを変えている。

(写真提供: 桐原佳介)



ミサゴ

魚のみを食べる猛禽で「魚鷹」の異名も。空中でホバリングして獲物を見つけると急降下、水中の魚を足でつかみとる。全長約60cm、翼開長(両翼を広げた長さ)約160cm。

(写真提供: 田中一郎)



ヒレンジャク

「冠羽」と呼ばれる頭頂部の長い羽毛が特徴的で、くちばしから冠羽にかけて黒い帯模様。基本的に数羽から数十羽の群れで行動し、大群が市街地に現れることも。全長約18cm。

(写真提供: 徳永年彦)



キセキレイ

体長約20cm。春から秋にかけて溪流で見られ、尾を上下に動かすので「石たたき」などの異名を持つ。「チチツ、チチツ」と細く鋭く鳴きながら、大きな波形を描いて飛ぶ。

(写真提供: 桐原佳介)



メジロ

スズメよりやや小ぶりの大きさ。さえずりは、聞きなして「長兵衛、忠兵衛、長忠兵衛」と言われ、地鳴きは「チイ、チー」。山地から低地の林に生息し、広葉樹林帯に多い。

(写真提供: 鈴木仁)





風土に惹かれ、人が集い 文化に触れる場所つくる

ゲストハウス経営(大山町)

リチャード・ピアスさん

イングランド・コッツウォルズ地方出身

- ◎ 家族構成 / 妻、子
- ◎ 移住前の住まい / イギリス
- ◎ 移住時期 / 2010年
- ◎ 現在の仕事 / ゲストハウス経営、ツアーガイド、ネイチャーガイド、日本語指導と外国人向けツアー「BUSHIDO」経営

リチ宿 住 西伯郡大山町御来屋1023
 電 090-9460-2912 (9時-20時)
 http://richiyado.180r.com



宿の裏にある蔵を改造したバー



2018年にオープンすると、世界各国から旅行者が次々と訪れた。観光だけでなく、近くの御来屋漁港で新鮮な魚を買って共同の台所で調理をしたり、書道やちぎり絵を地域の年長者に習ったりと、鳥取を深く味わえる宿として満足度は高い。ピアスさんのガイドで大山、三徳山、隠岐の島など山陰地方を巡る自転車ツアーや、日南町のオオサンショウウオ保護活動の体験も紹介している。

今年前半は新型コロナウイルスの影響で、予約のキャンセルが相次いだ。しかし流行が落ち着けば、海外からの宿泊客だけではなく、近隣の人も日帰りで使ってもらえるドッグランやバーベキューの設備を計画 중이다。「アフターコロナでは都会ではなく、このような自然の多い静かなところに行きたいとみんな思うはずですよ」とピアスさん。そのときを励みに、さらに楽しめる宿へと進化を続けている。



輝くIJUターン者たち
 文/松村 亜紀子 写真/萱野 雄一

大好きな自然を追いかけて
 いくつもの国を回った後、
 たどりついた場所は鳥取県だった—。
 英国出身のリチャード・ピアスさんは、大山町御来屋で
 ゲストハウスを営む。旅人と地域の人が集い、
 新しい文化に出合える場所を作っている。



鳥取の魅力を実感、宿開く
 ピアスさんが初めて鳥取県に来たのは14年前。ALT(小・中・高等学校などの外国語指導助手)として赴任した先が、たまたま境港市の中学校だった。
 2年の任期を終えると、もともと旅と自然が大好きだったピアスさんは、マダガスカルや南アフリカ、韓国などで、ネイチャーガイドやサファリガイドとして働く。そして10年前に、再びALTとして湯梨浜町で勤務についた。

県内で過ごす時間が長くなるにつれ、大山や日本海などの雄大な自然や、三徳山三佛寺の投入堂(三朝町)など独自の歴史を持つ文化に魅力を感じ、鳥取県に腰を落ち着けたいと思うようになった。「物価も安めで治安も良く、暮らしやすさが最高」とピアスさん。
 国内のツアーガイドをしながら、三朝町で民泊のオーナーとして経験を積んだ。新たな宿泊施設用の物件を探していたところ、地域づくりを模索する大山町御来屋地区の住民グループから「空き家を活用して」と声がかかった。そこは静かな町並み沿いで数分歩けば目の前に海が広がり、夕日の美しさが絶景。ここでゲストハウス「リチ宿」を開くことを決めた。



山陰地方を巡った自転車ツアー
 写真提供:リチャード・ピアス



ちぎり絵を体験する宿泊客
 =写真提供:リチャード・ピアス

静けさがこれからの武器

オープン前に畳や床の間など日本らしい部分を残しながら、風通しのいい空間に改装した。中庭にはピザ窯を作って、白壁の蔵は漁船の灯など廃材を利用して雰囲気のあるバーに。裏庭では烏骨鶏を飼い、新鮮な卵も採取できる。

【IJUターンの相談窓口】

公益財団法人 ふるさと鳥取県定住機構
 所 鳥取市扇町115-1
 鳥取駅前第一生命ビル1階
 電 0857-24-4740
 網 https://furusato.tori-info.co.jp/

IJUターン就職に関する相談
 電 0120-307-238
 (8時30分~17時15分 ※土日・祝日除く)

移住に関する相談
 電 0120-841-558
 (8時30分~17時15分 ※土日・祝日除く)
 とっとり移住定住ポータルサイト
 網 https://furusato.tori-info.co.jp/iju/

温暖化軽減に一役、 常緑植物を世界へ

今、国内どころか海外でも注目を集めている屋上緑化に適した植物がある。
岩美町の株式会社フジタパラダイスパークが生産する「常緑キリンソウ」※1だ。
花卉栽培で培った経験と技術を生かし、緑化で地球温暖化の軽減に一役買っている。

※1 常緑キリンソウ 正式名称は「トットリフジタ1号、同2号」



屋上に苗入りバッグを持ち運び、スピーディーに設置する=写真提供：(株)フジタパラダイスパーク



生地やファスナーの種類などを試行錯誤して完成したバッグ

「切り花を作るのが得意じゃなかったの、自分がしたいことをやろうと思った」。緑化事業を広げてきたのは、専務の藤田豊博さんだ。旺盛なチャレンジ精神で19歳の時、切り花の生産者だった父（社長…道明さん）からビニールハウスを一棟借り、植物園を開園。団体旅行が流行った時代背景も味方し、多い時にはなんと1日4千人が来園した。

「お客さんに喜んでもらいたくて、世界中から原種や珍しい花を仕入れた。一時は1万種以上もあったが、気候や花の特性も違い枯らしてしまったり経験も」と苦笑いするが、多くの失敗が後の事業のヒントにつながる。

緑化事業に着手したのは、1997年の地球温暖化防止京都会議（※2）で屋上緑化の動きが広がりはじめたころ。当時は外来種のセダム（※3）が一般的だったが、「外来種では日本に根付かない」と直感が働いた藤田さん。植物園での経験が生きたのだ。そこで注目したのが約100日間、水を与えなくても枯れないキリンソウ。「ただ、冬場になると、新芽はあるものの土が見えてしまっていた」。その課題を解決すべく品種改良を重ね、完成したのが、年中緑を絶やさない「常緑キリンソウ」だ。

「屋根一面に施せば『天然のクラー』だと称賛され、自信になった。一般家庭の屋根に活用する動きも出てきているし、もっと気軽に緑化が広まってほしい」と笑顔の藤田さん。コツコツと重ねた努力が実を結び、いま世界へ羽ばたこうとしている。



「失敗も重ねたが、ようやくここまで来た」と藤田さん

株式会社 フジタパラダイスパーク

代表 / 藤田 道明
設立 / 1988年
資本金 / 4500万円
〒 岩美郡岩美町岩常360
☎ 0857-72-0087
🌐 <http://fujita-paradise.com/>

文・写真 / 藤田 和俊

※2 地球温暖化防止京都会議=1997年12月に京都で開催、先進国及び市場経済移行国の温室効果ガス排出の削減目的を定めた「京都議定書」が採択された。

※3 セダム=山地や海岸地の岩上などのわずかな土に根を張り、生育する植物。国内外で多種類ある。

文 字 の 迷 宮 を ゆ く

つれづれ
書林女子

第三次世界大戦勃発から38年後、『ネオ東京』として復興した2020年のメガロポリスを舞台に、制御不能の強大な力に翻弄される人々を描いたSF漫画。自称「健康優良不良少年」金田は、国家機密『アキラ』を巡る政府軍とゲリラの抗争に巻き込まれていく。

1982年発表の本作。開催不能に陥る東京オリピックに国家緊急法発令で人が消える街と、当年を迎えた今、現実との不穏な偶合が耳目を集めて

未来はもう始まっている

『AKIRA』 大友克洋著（講談社）

いる。だが、作中に満ちる猥雑な熱気は、先見的というよりも、作者自身が体感したであろう昭和の戦後復興や安保闘争の時代を彷彿とさせる。がむしろに上昇を目指した大人、体制を疑い決起する若者…。近未来の設定を借りて本作が問うたのは、不吉な予言でも破壊による絶望でもなく、人々のDNAにあまねく刻まれた「再生のエネルギー」ではないか。

物語終盤、壮絶な闘いの末崩壊した都市に美しい朝日が昇る。新たな未来へ向けてバイクを駆り出した金田たちとともに、私たちはこれから何を見るのだろうか。混沌を切り裂いて奔る彼らの瞳が鋭く前を見据える限り、TOKYOはきつと何度でも生まれ直す。

文・イラスト / 前田 環奈



まえた・かんな
鳥取市出身。古本屋「邯鄲堂」店主。古本の販売のほか、陶磁器の修理（金継ぎ）も行う。

【邯鄲堂】〒鳥取市吉方町2丁目311
☎080-2940-2127

voice

126号の感想から

近場のドライブで道の駅に立ち寄ったところ、「とっとりNOW」の華やかな表紙が目にとまり思わず手に取りました。巻頭特集の「空・風・水と遊ぶHoliday」は、どれも身近な場所。見慣れた景色のはずなのに、誌面で見ると新鮮で癒やされました。

（鳥取県鳥取市 橋本 ゆかり）

鳥取名物が散りばめられた表紙。いったい何個の名物が？と、気になって、本誌を手に取りました。特集の「ことり舎」の取り組みがいいですね。映画のロケ地として空き家が活用され、町に活気がよみがえる。とても素敵だなあと感じます。

（鳥取県鳥取市 岸本 京子）

「ここにこの人」「水中考古学」というワードにとっても惹かれました。子どもの頃から何度も見ている映画『ハムナプトラ』の影響で、考古学や歴史に興味を沸き、TVで遺跡や発掘関連の特集があると、見入っていました。でもそれはすべて陸上や土中。水中遺跡の存在を知ってはいいたもの、これまで馴染みがなかったのです。今回の記事を見て「今までの自分、もったいない！」と。水中考古学分野が今後、日本でも発展し、最新の研究が博物館などで手軽に見られる日が来てほしいです。

（鳥取県鳥取市 八雲 優菜）

特集「地域と共に編む映画文化」の記事に感銘を受けました。人と人との交流の大切さを感じます。

（鳥取県米子市 原 篤成）

「きらり匠人」で紹介されていた田部浩之さんは、85歳になられるのにまだ現役！すごいです。しかも60年以上も作り続けてこれながら、「満足できたのは1個か2個」とは…その職人気質に頭が下がります。

（神奈川県開成町 鶴岡 慶二）

カメラアイの「碧の競演」。海中の碧の美しさが誌面いっぱい広がりが、いいですね。以前から中谷英明さんの海中写真のファンです。

（鳥取県倉吉市 大津 理恵）

読者プレゼント

応募〆切
2020.
9/30
消印有効

■ 応募方法

下記の項目を記入し、ハガキまたは電子メールでご応募ください。

- ① 希望の商品記号または商品名
- ② 掲載記事への意見・感想
- ③ 応募用クイズの答え
- ④ 住所・氏名・年齢・電話番号

※②の感想が次号の「VOICE」に掲載される場合、住所・氏名が明記されることをご了承ください。また商品の当選は、発送をもって発表に代えさせていただきます。

■ 応募先

〒680-8570 鳥取市東町1丁目220
鳥取県広報連絡協議会(鳥取県庁内)
「とっとりNOW読者プレゼント」係
メールアドレス: now@kouhouren.jp

※お預かりした個人情報は、プレゼント発送以外の目的に使用することはありません。

● 応募用クイズ ●

Q

野鳥のオスが繁殖期にあるパターンを何度か繰り返して出す声を何という？
ひらがな4文字で記入してください。

126号のクイズの答えは「水中考古学」

A



羊毛フェルトキット「ヒーリングバード」(直径4cm) 【3名】

羊毛フェルトを使って作る、野鳥のマスコットキット。手のひらサイズの丸いフォルムが愛らしい。専用道具入りで、誰でも簡単に作成できる。※種類は選べません

問 鳥取県広報連絡協議会
☎ 0857-26-7086

B



蟹取県の塩ぼん酢(150ml×3本) 【3名】

地元醤油メーカーと開発した*カニに合う、塩ボン酢。日本海の藻塩と国産ユズを使用、鍋のつけダレやサラダにかけても美味。着色料・保存料不使用。

問 株式会社ビッグワン
☎ 0859-27-4788

C



カニダノミ ハンドクリーム (50g) 【3名】

捨てられがちなカニの殻を有効活用した新発想のスキンケア商品。殻に含まれる保湿成分を配合、ベタつかずしっとり潤い、肌は滑らか。水にも強い。

問 株式会社マリンナノファイバー
☎ 0857-28-5228

D



鳥取素ラーメン (乾麺・スープ付 2人前) 【3名】

中華麺をカツオとコンブの和風だしで食べる鳥取名物「素ラーメン」のセット。発祥の店「武蔵屋食堂」が監修した。手軽にプロの味を家庭で味わえる。

問 武蔵屋食堂
☎ 0857-22-3397

E



大山ミルクコンフィチュール (180g) 【3名】

大山の新鮮な牛乳と砂糖を煮詰めたコンフィチュール。牛乳のコクと旨味がぎゅっと凝縮、ジャムのようにパンに塗るほか、紅茶などに混ぜてもおいしい。

問 株式会社赤坂文殊庵
☎ 0857-51-1700

F



なしば茶ギフトセット (「梨葉100%」「ルイボスブレンド」「紅茶ブレンド」各3包) 【3名】

二十世紀梨の葉を活用したお茶。ポリフェノールが豊富なうえ、カフェインフリーでヘルシー。ほのかな甘みが癒やされる。手軽なティーバッグ。

問 なしばプロダクト
☎ 0859-21-7232

G

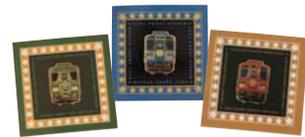


二十世紀梨カレー (レトルトパウチ入り 200g) 【3名】

老舗梨園のおいしい梨をふんだんに使ったご当地カレー。梨の爽やかな甘さとカレーのスパイスが絶妙に合う。さらっとしているので朝食にもオススメ。

問 梨一筋百年さんこうえん
☎ 0857-20-1174

H



若桜鉄道オリジナルピンバッジ(2.5cm×1.7cm) 【6名】

工業デザイナー・水戸岡鋭治さんがデザインした若桜鉄道観光列車「昭和号」「八頭号」「若桜号」のピンバッジ。レトロ調の車両の正面をかたどっている。

問 若桜鉄道株式会社 ※種類は選べません。
☎ 0858-82-0919

Editor's note

□ ■ 編集後記 □

愛おしい。その一言に尽きる。指導手だけをまっすぐに見つめるエルザ(6頁)。そばにいないのに、こちらをチラリとも見てくれない。どんな動物でもすぐに懐いてくれる経験が多い私は、少々消沈…。ただそれもそのはず。さまざまな誘惑が多い災害現場では、

この並外れた集中力が不可欠と聞き、納得した。▼見学した捜索訓練では号令が出るやいなや、疾走。一瞬にして姿を見失う。空気中の呼気を嗅ぎ取り、野山のあちこちに隠れていた3人を瞬く間に発見!は、早すぎる…想像以上で呆然。その瞬間の撮影を狙ったものの、お手上げだった。高い能力とひたむきな姿勢にあっばれ。▼対する猫。名前を

呼んでも無視、甘えたい時に甘え、見つめる時はご飯のおねだり。飼い主は下僕ゆえ、かしずかせて暮らし、「人に尽くす」などあり得ない。我が家の女王、も言わずもがなだ。▼なのに。ツンデレゆえ無条件で愛される。ああ…健康な犬たちになんか申し訳ない。愛猫家たちはきっと一様に言うだろう。「比較することさえおこがましいです…」と(苦笑)。【Hi】

鳥取県総合情報誌 vol.127

とっとり
Autumn 2020
Now

〈企画・編集・発行〉鳥取県広報連絡協議会
〒680-8570 鳥取市東町1丁目220(鳥取県庁内)

〈制作〉株式会社セイセイ堂デザイン
〒680-0841 鳥取市吉方温泉3-802 TEL.0857-22-1122

☎ 0857-26-7086

☎ 0857-29-6621

とっとりNOW

検索

https://www.kouhouren.jp/
2020年9月1日発行 定価315円